

## 8/10-19 追手門学院大学アメフト部が愛南町で夏合宿を実施

大阪府にある追手門学院大学のアメリカンフットボール部『SOLDIERS(ソルジャーズ)』36人が、あけぼのグラウンドで夏合宿を行いました。10日にわたる夏合宿の間、同部はグラウンドに隣接するあけぼの荘に宿泊し、愛南の味覚を堪能したり、練習終わりに温泉でリフレッシュしたりと、存分に満喫しながら練習に汗を流しました。

合宿最終日の夕方には、同部員の他に町内でサッカーに励むスポーツ少年団の児童たちがあけぼのグラウンドに集まり、フラッグフットボールを通じて交流を深めました。フラッグフットボールは、アメリカンフットボールで行うタックルの代わりに腰の左右につけたフラッグを取るというもので、原則として選手同士の接触は禁止とされていることから、幅広い世代で多くの人に参加しやすい競技となっています。

同部は、以前から大学周辺の小学生を対象にフラッグフットボールの体験教室を実施していましたが、コロナ禍によりここ数年実施できていませんでした。主将の芹沢太郎さんは「小学生に教えるということの難しさもありましたが、チームで協力することの大切さを感じながら全力でプレーしてもらえました。この体験をきっかけにアメフトへの興味を持ってもらえたら嬉しい」と述べました。また、「ご飯のおいしさや温泉の気持ち良さ、なにより愛南町の方々の優しさを感じる毎日で、ぜひ来年も愛南町で夏合宿を行いたい」と夏合宿を振り返り、来年への意気込みを語りました。



愛媛  
CATV  
動画



## 8/20 スポーツ少年大会 相撲競技

御荘B&G海洋センター相撲場で「第19回愛南町スポーツ少年大会 相撲競技」が行われ、13人の少年力士が参加して個人戦、団体戦で熱戦を繰り広げました。

【大会結果は下記のとおり】



愛媛  
CATV  
動画



▲個人戦入賞者(優勝、準優勝)の皆さん

## 8/26 <sup>あすみ</sup>二神明日美さん、剣道全国大会に出場!

9月3日(日)に奈良県で開催される「第62回全日本女子選手権大会」に出場する二神明日美さんへの激励を兼ねた南宇和剣道会の稽古会が、8月26日(土)、一本松交流促進センターで行われました。

一本松出身で、4歳の頃から始めて大学までずっと剣道部で稽古に打ち込んできたという二神さんは、NTT西日本実業団で今も剣道を続けています。社会人になってからはあまり稽古に時間をとれなくなったということですが、その中でも努力を続け、先般6月に行われた香川県予選大会で優勝を果たし、見事全国大会への出場を決めました。

二神さんは、故郷の家族や仲間からの温かいエールを受け、全国の舞台でも全力を尽くして戦いました。



愛媛  
CATV  
動画



## 8/30 愛媛県杖道大会優勝者・入賞者取材しました

8月6日(日)に開催された一般社団法人愛媛県剣道連盟主催の第43回愛媛県杖道大会で、愛南町から出場した4人が優勝、準優勝、敢闘賞を受賞しました。

三段の部で優勝した島内<sup>ひでかず</sup>秀和さんは、杖道について「空手などと同じで、杖道にも型があります。しかし、ただ型を覚えるだけでは意味がなく、それを相手がいる実戦の中でどう生かすかを意識するのが大切です」と語りました。

小学生の部では、優勝、準優勝、敢闘賞の全てを愛南町の児童が受賞しました。

小学生の部で優勝した清家<sup>ゆうし</sup>優士さんは、「大会が始まる前は緊張していたけど、本番が始まるにつれて少しずつ緊張しなくなっていったのでよかったです」と大会の様子を振り返りました。

## 【三段の部】

優勝 島内<sup>ひでかず</sup> 秀和

## 【小学生の部】



▲三段の部優勝者、島内秀和さん



▲小学生の部、左から小笠原祐成さん、清家優士さん、岡澤美梨愛さん

## 9/2 緑地区で伝統の八朔相撲

緑ふれあい広場土俵で緑八朔相撲が4年ぶりに開催され、小学生の部(団体・個人)、一般の部(団体)、宮相撲(個人)が行われました。また、八朔相撲の前には緑小学校の校内相撲大会も実施され、子どもから大人まで総勢50人を超える力士たちが緑地区を盛り上げ多くの観客が声援を送りました。

八朔は旧暦8月1日を指し、全国各地で稲が本格的に収穫されるのを前に豊作を願う行事が行われています。人口減少などにより途絶えてしまう行事も多い中、八朔相撲は緑青年団が中心となって開催しています。開催にあたり団長の清水<sup>こうへい</sup>康平さんは「八朔相撲は緑地区にとって重要な行事です。伝統を途絶えさせることのないよう地区が一丸となって継続していきたい」と力強く述べました。



愛媛  
CATV  
動画



## 9/9-10 「貝塚モンスターを探せ!」を開催しました

9月9日(土)と10日(日)に、僧都公民館と旧僧都小学校で、平城貝塚の発掘調査で得られた貝塚の土を洗い、縄文時代の魚の骨などを探す、「貝塚モンスターを探せ!」を開催しました。小学生と大人を合わせ、14人の参加があり、ブリやタイの背骨などのほか、イノシシの顎の骨が発見されました。

参加者からは、「古代人と現代人の生活の中で共通した物を見つけるという体験はなかなか出来るものではありません」、「貝や魚などについても知りたくなった」、「大人の方が夢中になるくらいのイベントなので、老若男女関係なく、愛南町内外の方が参加できるイベントになると良いなと思いました」といった感想が上がりました。



平城貝塚保護  
プロジェクト  
Instagram



## 9/24 役場相撲部が全日本実業団相撲選手権(団体二部)で優勝!

9月24日(日)、大阪府で行われた第65回全日本実業団相撲選手権に出場した愛南町役場相撲部の選手3人(先鋒:若松良健さん、中堅:小松功大さん、大将:近平佳多朗さん)が、団体二部において優勝を果たしました。

団体二部に参加したのは、愛南町役場を含め全部で11チーム。予選では苦戦が続いたと言いますが、いざ決勝トーナメントに進むと底力を発揮し、見事優勝旗を手にして凱旋しました。

大会の様子を振り返る大将の近平さんは、「決勝トーナメントに進むための同点決勝戦では、予選1回戦で当たった相手と再度戦いました。その試合で、中堅の小松がリベンジを果たすことができ、それをきっかけに全員が波に乗って、優勝まで勝ち上がる事ができたのだと思います」と語りました。

普段は子どもたちの稽古指導も行っているという3人は、「この大会結果がきっかけとなり、町の相撲競技の活性化につながると嬉しいです。毎週火・金曜日、南宇和高校の相撲場で19時から稽古を行っていますので、興味のある方はぜひ見学に来てください」と、後進の育成にも意欲を見せました。



愛媛  
CATV  
動画

## おしらせ としやす 清水利康さんが高齢者叙勲 瑞宝双光章を受章

清水利康さんが、教育振興における多大な功績が認められ7月1日付けで瑞宝双光章(教育功労)を受章しました。

35年にわたる教員人生を歩んだ清水さんは昭和35年に内海村立柏中学校に着任して以降、小中学校の教諭として児童・生徒の健全育成に努めました。平成2年から僧都小学校・久良小学校の校長を歴任し、地域に根差した学校運営に尽力して平成8年3月に退職しました。

今回の受章について清水さんは、「同僚職員や保護者をはじめとする地域の方々、そして家族に支えてもらったおかげで充実した教員生活を送ることができました。100歳まで健康であることを目標に生活しながら、地域活動にも積極的に参加していきたい」と感想と抱負を述べました。



## 生涯学習課より文化財のご紹介

### 国登録有形文化財「しゅおく 蕨岡家住宅主屋・長屋門・土蔵」(所在地 正木1465番地)

主屋は、明治33年頃に建てられました。良質な木材を用いた丁寧なつくりで、内外の木部にはベンガラ(赤い塗料)が塗られていることから、南宇和郡の近代和風建築の好例として評価されています。

長屋門は、桁行が約26mあり、木造の平屋で、中央に門を構えています。壁に貼られた木板の黒と漆喰の白のコントラストが美しい建物であり、北端の壁には台風等の強い風雨に備えた作りが見られます。

土蔵の壁は、主に漆喰が使われていますが、その下部は断面が半円の漆喰の帯を斜格子に組み合わせた“海鼠壁”という作りになっています。

